

第2回先進的まちづくり大賞における国土交通大臣賞の受賞について

第2回先進的まちづくり大賞において、本市のアーバンデザイン策定に係る官民連携の取組が最高賞の国土交通大臣賞を受賞しましたのでお知らせします。

1 概要

先進的まちづくり大賞は、他の地域のモデルとなるような先進的なまちづくりの取組を表彰し、国内外に広く情報共有、発信することにより、先進的なまちづくり事例の普及や取り組みの一層の促進支援を図るものです。昨年度に引き続き開催された第2回先進的まちづくり大賞において、「前橋市アーバンデザインの策定とその後の民間主体のまちづくり」が特に優秀な取り組みとして国土交通大臣賞を受賞しました。

2 受賞者

前橋市、一般社団法人前橋デザイン Kommission

3 選考経過

令和元年11月26日 募集開始

令和2年1月20日 応募締切

令和2年5月下旬に受賞地区決定予定であったが、新型コロナウイルスによる影響により審査が滞り、令和2年11月9日国土交通省による発表

報道発表資料（国土交通省）<https://www.mlit.go.jp/report/press/index.html>

4 その他

全議員へタブレット配信の上、令和2年11月13日の定例記者会見にて発表予定

担 当 市街地整備課 CCRC・計画推進室

担当者 額額補佐、濱地副主幹

電 話 027-898-6946（内線：3946）

同時発表

コンパクトなまちづくり推進協議会
一般財団法人都市みらい推進機構

令和2年11月9日
都市局都市計画課
都市局市街地整備課
都市局都市政策課

令和2年度コンパクトなまちづくり大賞、先進的まちづくり大賞の 国土交通大臣賞の受賞者決定

コンパクトなまちづくり大賞は、地域の創意工夫のもと、コンパクトなまちづくりを推進し、他のモデルとなるまちづくりの取組事例を表彰する制度です。また、先進的まちづくり大賞は、都市課題の解決や次世代型都市の創出に繋がる、他のモデルとなる先進的なまちづくりの取組事例を表彰する制度です。（両大賞の主催者：コンパクトなまちづくり推進協議会及び一般財団法人都市みらい推進機構）

例年「まちづくり月間」（6月）に併せて受賞団体を選定していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により審査延期となっており、今般、受賞団体を選定されました。

記

■コンパクトなまちづくり大賞

国土交通大臣賞

総合戦略部門

個別事業部門

富山市

道後文京地区（松山市）

■先進的まちづくり大賞

国土交通大臣賞

前橋市・一般社団法人前橋市デザイン Kommission

※各受賞団体の詳細は、別紙コンパクトなまちづくり推進協議会及び一般財団法人都市みらい推進機構の発表資料をご参照ください。

なお、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、例年実施していた表彰状授与式を本年は中止し、主催者による表彰状の発送をもって表彰と代えさせていただきます。

問い合わせ先：国土交通省代表（03-5253-8111）

○コンパクトなまちづくり大賞について

都市局 都市計画課 小林、中村（内線：32662・32686）

直通：03-5253-8409 FAX：03-5253-1590

都市局 市街地整備課 尾上、赤松（内線：32716・32763）

直通：03-5253-8413 FAX：03-5253-1591

○先進的まちづくり大賞について

都市局 都市政策課 染谷、松原（内線：32233・32235）

直通：03-5253-8397 FAX：03-5253-1586

※各賞の審査に係ることについては、主催者にお問い合わせください。

主催者：コンパクトなまちづくり推進協議会、一般財団法人都市みらい推進機構
（事務局 都市みらい推進機構 TEL 03-5261-5625 <http://www.compact-net.org/>）

第2回 先進的まちづくり大賞

1. 先進的まちづくり大賞について

先進的まちづくり大賞は、他の地域のモデルとなるような「健康・医療・福祉」「エネルギー・環境・省エネ」「安心・安全」「防災・減災」「交通」「インフラ（上下水道等）」「コンパクトシティ」「既存ストック・歴史的資産の活用」「リノベーション」「公民連携・官民連携」「ファイナンス」「タウンマネジメント・エリアマネジメント」「ブランディング」等をキーワードに、都市課題の解決や次世代型都市の創出に繋がる『先端技術』や『新しいまちづくりの手法』を活用した先進的なまちづくりの取組を表彰し、国内外に広く情報共有、発信することにより、先進的なまちづくり事例の普及や取組の一層の促進支援を図ることを目的に、昨年度に引き続き実施します。

2. 主催・後援

主催：コンパクトなまちづくり推進協議会、一般財団法人都市みらい推進機構

後援：国土交通省

3. 実施方法

全国の市区町村等から応募のあった中から、受賞案件を選定する。

【募集対象】

まちづくりにかかる取組・活動を実施し、一定の成果をあげている市区町村の取組、または、まちづくり団体等（企業、NPO、協議会等。）による取組

【審査委員会】

第1回：令和2年 2月17日（月）

第2回：令和2年10月19日（月）

委員会メンバー：委員長	東京海洋大学名誉教授	高橋洋二（令和2年10月現在）
副委員長	日本大学特任教授	岸井隆幸（順不同、敬称略）
委員	東京工業大学教授	中井検裕
”	和歌山大学教授	足立基浩
”	東京理科大学教授	伊藤香織
”	(株)建設環境研究所理事	伊藤伸一
”	国土交通省大臣官房審議官(都市)	望月一範
”	国土交通省大臣官房技術審議官(都市)	渡邊浩司
”	国土交通省大臣官房審議官(住宅)	黒田昌義
”	コンパクトなまちづくり推進協議会幹事長	横本勝己（松山市都市整備部長）
”	(一財)都市みらい推進機構専務理事	有安 敬

4. 表彰

①国土交通大臣賞（1点）

特に優秀な取組み

②コンパクトなまちづくり推進協議会会長賞（1点）

優秀な取組み

第2回 先進的まちづくり大賞 受賞一覧

賞	応募者・所在地	取組名／概要・受賞理由
国土交通大臣賞	<p>前橋市・一般社団法人前橋市デザイン委員会</p> <p>群馬県前橋市</p>	<p>取組名：前橋市アーバンデザインの策定とその後の民間主体のまちづくり</p> <p>中心市街地の目指すべき将来像について、市民の思いを市民中心に議論し、まちづくりのビジョンの作成と共有、民間主体のまちづくりを推進するための指針(アーバンデザイン)を市の既定の計画に位置付けなおす手法や、それらを比較的短期間で達成した点は先進性や独自性が高い。また、民間が主体的に関わる小規模なアクションを展開していく組織や、構成企業の利益の一部をまちづくりに寄付していく団体の存在等、取組の端緒ではあるものの今後の展開が期待されることが高く評価されました。</p>
都市みらい推進機構理事長賞	<p>日南市</p> <p>宮崎県日南市</p>	<p>取組名：油津商店街の取組</p> <p>地方都市の商店街において、空き店舗、空き地等を活用した店舗、事業所の誘致による活性化への取組。キーとなる人材の公募による登用と、地方公共団体との役割分担のもと新たな施設の整備や運営等を担う地元主体の株式会社による取組等独自性が高く、商業店舗にとどまらず、IT企業の事務所誘致や若者のチャレンジを後押しする創業支援型の新規出店等の成果に結びつけている。また、歩行者交通量の増加や、商店街の空間等を活用した市民が自発的に企画・運営するイベントの増加等による賑わいの再生が継続している点が評価されました。</p>